科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER16 1J5 English Reading			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 谷口 一美		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月2	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

この授業では、英語リーディング・スキルの習得と向上を目的とする。学術的文体の英文を精読・多読し、構文や文法を把握すると共に、著者の意図を適正に解釈する力を身につけ、英語による議論の構成を学習する。
さらに、音読によるリーディングの練習も取り入れ、英語音声の特徴について詳細に学習する。

[到達目標]

・学術的な英語テクストを読解し、正確に理解すると共に、その内容について議論を深めることができるようになる。
・英語の音声の特徴を理解し、リスニング・スピーキングのスキル向上に努める。

[授業計画と内容]

この授業で扱うテキストは、社会言語学の第一人者であるDeborah Tannenによる著作である。会話スタイルや対人関係の志向性に関する男女の相違に焦点を当て、その相違が職場においてどのような問題を引き起こし得るか、豊富な具体によって示されている。場面は職場ではあるが、学生生活にも多くの点で当てはまる、身近な事例が扱われている。卓越した書き手である著者による文章は、学術書としての論理性と巧みな表現に富んでおり、大学生の英語学習には最適である。

テキストは第1章と第2章を中心に、以下のスケジュールで読み進める。

Chapter 1 Women and Men Talking on the Job
1. Introduction （第1回～第2回）
2. When not asking directions is dangerous to your health （第3回）
3. To ask or not to ask （第4回～第5回）
4. Negotiating from the inside out or the outside in （第6回）
5. When is the wage gap a communication gap （第7回）

Chapter 2 "I'm sorry, I'm not apologizing"
1. Introduction （第8回）
2. Saying "I'm sorry" when you're not （第9回～第12回）
3. Taking blame and influencing people （第13回～第14回）

履修者は、テキストの指定された箇所の解釈を事前にメール等で提出すること。その解釈について、授業で詳細に確認すると共に、内容について全員でディスカッションを行う。各章毎に小テストを実施する予定。

また、授業の冒頭30分程度を使用し、課題文（別途プリントで配布）の音読の練習を行っていく。

英語リーディング ER16(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER16(2)

音読により英語の音声の特徴を理解し、リスニングおよびスピーキングの基礎を身につけていきたい。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

以下の割合で、総合的に評価する。

・小テストの成績 (60%)
・音読試験 (20%)
・平常点 (20%)

詳細は初回授業時のガイダンスで説明する。
授業を５回以上欠席した履修者には試験の受験を認めないので、留意すること。

[教科書]

Tannen, Deborah 『Talking from 9 to 5: Women and Men at Work』（William Morrow Paperbacks）ISBN: 978-0380717835

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・授業で扱う範囲について、英単語や文法事項をはじめとする予習は必須。
・内容について毎時復習し、理解を深めること。
・多読の課題は各自のペースで計画的に進めること。
・音読は短時間でも継続的に自習することが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]